

4月号  
2025 Vol.12

# 田水郷通信

## ◆ Topics

- ▶ 現場の創意工夫と新たな工法を発表 技術研修会
- ▶ 次代に繋ぐ「田・水・郷」パネル展を開催しました
- ▶ 田水郷コラム「甘さと酸っぱさのバランスが魅力! 「もういっこ」「にこにこベリー」

## 現場の創意工夫と新たな工法を発表 技術研修会

宮城県の農業農村整備分野における新たな取組や現場の創意工夫などを共有し、職員全体の技術力向上を図ることを目的として、令和5年度農業農村整備「技術研修会」を令和6年1月31日（水）に開催しました。

研修会では、各所属から6課題が発表されたほか、古川農業試験場による研究成果の発表と、農林水産省農村振興局による取組についての特別講演が行われました。

最優秀賞を獲得した「小水力発電の普及拡大に向けて（内川松沢小水力発電の事例から）」では、発電用水の不足による発電出力の低下とゴミによる導水路の閉塞という2つの課題に対し、現地での検証を重ね、より効率的かつ実用的な発電と除塵作業の方法が提案されました。今後、工事費用及び維持管理費用の低減を図りながら小水力発電の県内普及拡大を進めるうえで非常に重要な内容となっていました。



▲ 屋内研修の状況



▲ 発表の状況

技術発表課題一覧		
課題番号	課題	審査結果
1	<b>ため池内堆積土砂の固化処理に関する一考察</b> 大河原地方振興事務所農業農村整備部 技師 大野菜穂子	
2	<b>防災重点農業用ため池の防災工事に係る検討事項について</b> ～境堤ため池を事例として～ 仙台地方振興事務所農業農村整備部 技術主査 館山隆也	優秀賞
3	<b>小水力発電の普及拡大に向けて（内川松沢小水力発電所の事例から）</b> 北部地方振興事務所農業農村整備部 技師 瀬戸大輝	最優秀賞
4	<b>レストム工法による崩落土を活用した長大畦畔の法面復旧工法について</b> 北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部 技師 相蘇清蘭（口頭発表者）、技術主任主査 鈴木和裕	
5	<b>大川地区における農地耕作条件改善事業（スマート農業導入推進型）活用事例について</b> 東部地方振興事務所農業農村整備部 技師 平龍之輔	優秀賞
6	<b>令和4年7月豪雨における伊豆沼周辺地区の湛水排除事業について</b> 東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部 技師 鈴木拓也	

# 田んぼダム出前講座を実施しました！

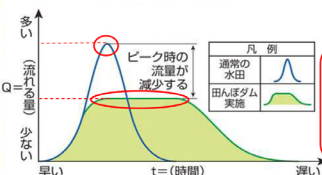
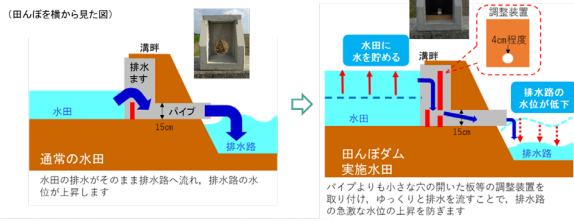
県が推進している田んぼダムの役割や仕組みを学んでもらう出前講座を2月4日（日）に実施しました。

今回は、一般団体から申し込みをいただき、団体の会員15名が受講しました。

講座では昨年度作成した田んぼダムの模型実験動画を再生し視聴してもらい、田んぼダム実施による効果について理解や関心を深めてもらいました。



## 田んぼダムの仕組み



※田んぼダムの重要ポイント  
**“ゆっくり排水する”**  
ということ



▲ 出前講座の様子

# NN職員ってどんな仕事？ 総合土木職業務説明会を実施しました

1月16日、26日に新潟大学及び山形大学において、宮城県総合土木職（農業土木分野）の業務説明会を実施しました。説明会では、総合土木の職員が具体的な業務内容や福利厚生等について、実体験も交えながら紹介し、その後は、宮城県の事業に関することや、公務員試験の勉強方法などをはじめとした幅広い質問を受けました。

本県の農業農村整備事業担当部署では、農業土木を学ばれた方や農業土木分野で働きたい方を募集しています。

また、ホームページや公式X（旧Twitter）を随時更新しておりますので、興味のある方はぜひご覧ください！



▲ 新潟大学説明会

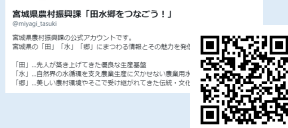


▲ 山形大学説明会

宮城県総合土木（農業土木）  
業務紹介動画公開中！



宮城県農村振興課  
公式Xやってます！



# 甘さと酸っぱさのバランスが魅力！ 「もういっこ」「にこにこベリー」



皆さんは、宮城県の特産物といえは何を思い浮かべますか？全国で特に有名なものといえば、牛タンや笹かまぼこなどがあると思いますが、実は宮城県は有数のいちご産出県でもあります。

宮城県はいちごが出荷される冬から春に日射量が豊富であり、いちごの栽培に適した気候のため、東北一のいちご産地となっています。昭和初期に養蚕に替わる作物として亶理町吉田地区に導入されたことから始まりました。

現在は、主に仙台や北海道の市場へ出荷され、食材王国みやぎが誇る青果物となっています。

そこで、今回は宮城県オリジナルの品種を紹介します。

## もういっこ

「もういっこ」は、寒冷地の気象条件に適する品種として2008年に登録されたもので、すっきりとした甘さと果実が大きいのが特徴です。

また、程よく硬さがあり、食べ応えも抜群なので、口いっぱいいちご甘酸っぱさや香りを楽しむことができます。そのため、大粒の果実にも関わらず、自然と

「もう一個」手を伸ばしてしまう不思議な魅力があります。



## にこにこベリー

「にこにこベリー」は「もういっこ」に、イチゴの定番「とちおとめ」を掛け合わせ、誕生したもので、「作り手、売り手、さらには手に取って食するすべての人が笑顔になるいちご」という想いを込めて、このように名づけられました。この品種は甘みと酸味のバランスが良いのが特徴で、果実がきれいな円錐型で果肉まで赤いため、ケーキのデコレーションにもおすすめです。



皆さんも宮城県が誇る甘酸っぱくておいしいいちごを一度味わってみてはいかがでしょうか？

## ～宮城県農業農村整備関係部署一覧～

県庁農政部		県出先機関	
農山漁村なりわい課	022-211-2657	大河原地方振興事務所 農業農村整備部	0224-53-3111
農山漁村調整班、交流推進班		仙台地方振興事務所 農業農村整備部	022-275-9111
中山間振興班、6次産業化支援班		北部地方振興事務所 農業農村整備部	0229-91-0701
農村振興課	022-211-2861	北部地方振興事務所 栗原地域事務所 農業農村整備部	0228-22-2111
指導班、企画調整班、地域計画班、		東部地方振興事務所 農業農村整備部	0225-95-1411
技術管理班、広域水利調整班、		東部地方振興事務所 登米地域事務所 農業農村整備部	0220-22-6111
農村整備課	022-211-2871	気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部	0226-24-2121
事業経理班、換地・用地班、ほ場整備班		王城寺原補償工事事務所	022-345-5175
水利施設保全班			
農村防災対策室	022-211-2875		
防災対策班、ため池対策班			

### 問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/